



# ウシウ

7 月号  
No.160



利尻町交通事故死ゼロ1000日達成記念  
交通安全マラソン大会

### 人口と世帯

世帯数	1,433	(+ 3)
人口	5,614	(± 0)
男	2,827	(+ 5)
女	2,787	(- 5)

昭和59年 5 月末日現在  
(住民基本台帳登録人口)

### おもしろな内容

- 2 ……交通安全町民大会
- 3 ……議会だより
- 4 ~ 5 ……利尻町議会議員道内先進地行政視察報告
- 6 ……林先生 (内科医) 着任
- 7 ……国民年金だより
- 8 ……りしりの博物誌 (16)
- 9 ……あなたと保健室
- 10 ……青少年の豊かな心を育てよう
- 11 ……駐在所だより
- 12 ……郵便局だより
- 13 ……観光一町ぐるみで「観光客を親切に迎えよう。」
- 14 ……戸籍のうごき

交通事故死ゼロ記録 7月1日現在1019日



# “利尻町交通事故死ゼロ1000日達成記念

# 続けよう北の街から事故死ゼロ!!

## 交通安全町民大会開催



利尻町交通事故死ゼロ一〇〇〇日達成記念「交通安全全町民大会」が六月十四日午後一時三十分から利尻町民センターで開かれました。利尻町では、昭和五十六年九月十七日に死亡事故以来、事故死ゼロ一〇〇〇日達成に向け、全町民をあげて取り組んでまいりました。六月十二日で三度目の一〇〇〇日を達成しました(この記録は、道内市町村十七位となっております。『今、締めようシートベルトと心の綱』を誓います北の街から事故死ゼロ——などをスローガンとして開催されたこの大会には、職場や地域、団体からの参加者や交通安全運動に携わる人たち、およそ百二十名が集まり、始めに全員で交通事故犠牲者のめい福を祈って黙とうしたあと、功労団体や功労者の表彰、喜びと決意のことば(町長)、宗谷支庁長のメッセージ、橋詰稚内警察署長、利尻町協議会議長が祝辞のあと、利尻町婦人団体協議会の成田会長、砂田、小笠原副会長が『交通事故のない平和で、明るい、やすらぎのある町を築こう』と交通事故死ゼロ一五〇〇日への大会宣言を読み上げ、満場一致で採択し、交通事故をなくすことを誓い合いました。表彰された団体(個人)は次の通り

▽道内交通安全推進委員会表彰

▽稚内警察署長から——

利尻町交通安全推進協議会

▽利尻町交通安全推進協議会会長から(団体)

新湊第三自治会・新湊第二婦人会・政治自治会・利尻建設協会・利尻高校生徒会・沓形小学校・仙法志小学校、仙法志郵便局・中田組(株)利尻支店

利尻電業(株)りしりハイヤー(株)・沓形運輸(株)

(個人)

田尻忠司・高村哲弥・堀井彰

柿元正宏・堀井尚造・酒井義一・河合英二・野村勲・大高

泰治・石川巖・小笠原四郎・永田次義・松原正・藤田武利

片瀬織・佐孝正雄・木村正一

佐孝忠男・田中了・針金順五

郎・畠山箕角・渡辺英治・阿部正・渡辺隆男・岩島秀夫・

渡辺明・根塚浅夫・大友和夫

中村鉄也・原崎保・藤田勇・

富山金治・中川原智三・森井

隆・浜田照栄・上木善吉・岡

山勇・町村春二・坂江清一郎

鈴木実・以上十二団体・四十

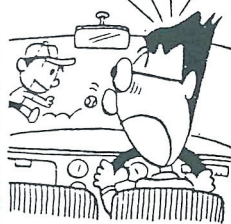
名(順不同)

## 交通事故死〇目標1500日

達成日 昭和60年10月25日

- ・スピード・ダウンで安全運転を!
- ・シートベルトは必ず着用しましょう。

利尻町交通安全推進協議会  
沓形・仙法志交通安全協会







議会だより

昭和五十九年第四回利尻町議会(臨時会)は五月十四日招集され、会期を一日間と定めたあと諸般の報告、町長の行政報告につきつき補正予算案、専決処分二件が提出され、それぞれ原案で取り可決されました。その内容は次のとおりです。

◎昭和五十九年度利尻町国民宿舎特別会計補正予算(第一号)

この予算は、これまでの予算額に歳入歳出共に、四百三十万円を追加し、総額一億四千五百三十万円としました。

歳入のおもなものは、営業収入です。

歳出のおもなものは、フェリーターミナル食堂経営費です。

◎昭和五十九年度利尻町砕石事業

会計補正予算(第一号)

この予算は、これまでの収益的支出の予算額に三百八十万円を追加し、総額三億五千七百九十一万円とするものです。

◎専決処分した事件の承認を求めらるるについて

昭和五十八年度利尻町一般会計補正予算(第八号)

この予算は、これまでの予算額に歳入歳出共に二百五十万円を追加し、総額二十六億八千四百六十万円としました。

◎専決処分した事件の承認を求めらるるについて

昭和五十八年度利尻町一般会計補正予算(第八号)

これは、地方債の変更がおもなものです。

◎専決処分した事件の承認を求めらるるについて

これは、利尻町税条例の一部を改正したもので、おもなものは、次のとおりです。

◎個人の町民税

(1)障害者等にかかる非課税限度額の引上げ等

障害者、未成年者、老年者、寡婦についての非課税限度額を百万円(改正前八十万円)としたものです。

(2)均等割の非課税基準額の引上げ等

均等割の非課税限度額を二十二万(改正前二十万円)としたものです。

(3)所得割の非課税措置の存続と非課税限度額の引上げ等

所得割非課税限度額を二十九万(改正前二十七万円)とし、昭和五十八年度限りの借置を、当分の間存続することとしたものです。

◎法人の町民税

(1)均等割の税率の引上げ

法人均等割の税率を別表(一)のとおり引上げたものです。(59、4、1以降終了する事業所から適用)

◎軽自動車税

標準税率を、別表(二)のとおり引上げたものです。(59、4、1より)



別表(2)

法人等の区分	税率
1. 資本等の金額(資本の金額又は出費金額と法人税法(昭和40年法律第34号)第2条第17号に規定する資本積立金額との合計額(保険業法(昭和14年法律第41号)に規定する相互会社においては、令第45条の2に定めるところにより算定した純資産額)をいう。次号から第5号までにおいて同じ。)が、50億円を超える法人(保険業法に規定する相互会社以外の法人で、資本の金額又は、出資金額を有しないもの及び法人税法に規定する相互会社以外の法人で、資本の金額又は、出資金額を有しないもの及び法人税法第2条第5号の公共法人及び同条第6号の公益法人等で、均等割のみを課されるものを除く。次号から第5号までにおいて同じ。)で町内に有する事務所、事業所又は療等の従業者(俸給、給料若しくは賃金又は、これらの性質を有する給与の支給を受けることとされる役員を含む)の数の合計数(次号から第5号までにおいて「従業者数の合計数」という。)が、50人を超えるもの。	年額 3,600,000円
2. 資本等の金額が、10億円を超え50億円以下である法人で従業者数の合計数が50人を超えるもの。	年額 2,100,000円
3. 資本等の金額が、10億円を超える法人で従業者数の合計数が、50人以下であるもの及び資本等の金額が、1億円を超え10億円以下である法人で従業者数の合計数が、50人を超えるもの。	年額 480,000円
4. 資本等の金額が1億円を超え10億円以下である法人で従業者数の合計数が、50人以下であるもの及び資本等の金額が1千万円を超え1億円以下である法人で従業者数の合計が、50人を超えるもの。	年額 180,000円
5. 資本等の金額が1千万円を超え1億円以下である法人で従業者数の合計数が、50人以下である法人で合計数が1千万円以下である法人で従業者数の合計が50人を超えるもの。	年額 144,000円
6. 前各号に掲げる法人以外の法人等	年額 48,000円

別表(1)

軽自動車税の税率の改正(第82条)

	総排気量	現行	改正
原動機付自転車	0.05リットル以上	年額 700円	1,000円
	0.05リットル 定額出力0.6キロワット~0.8キロワット以下	" 1,100	1,200
	0.09リットル以上 定額出力 0.8キロワット以上	" 1,450	1,600
軽自動車	二輪のもの	" 2,200	2,400
	三輪のもの	" 2,850	3,100
	四輪以上 乗用 営業用	5,200	5,500
	" " 自家用	6,500	7,200
小型特殊自動車	" " 貨物 営業用	2,900	3,000
	" " 自家用	3,650	4,000
	農耕作業用	1,450	1,600
その他		4,300	4,700
二輪小型自動車		3,650	4,000



# 利尻町議会議員 道内先進地行政視察報告

## 一、視察参加者

視察団長(議長) 原崎 竹治  
議 員 牧野吉太郎  
随行者 保野 力雄  
助 役 小坂 実  
議会事務局主事

## 二、視察日程

昭和五十九年二月二十一日出発  
昭和五十九年二月二十六日帰町  
五泊六日

## 三、視察目的

役場庁舎及び町立病院の建設状況について

## 四、視察地

中富良野町役場庁舎  
長万部町立病院  
豊浦町役場庁舎

## ○役場庁舎の建設について

### 中富良野町

中富良野町は、北海道のほぼ中央に位置し、人口七千八百人面積一〇八、四九km<sup>2</sup>、町の中央部は平坦で農業に適した町です。

役場庁舎建設は、三ヶ年事業で

施工され、鉄筋コンクリート三階

建、総面積三、四三八・八一四m<sup>2</sup>、総工費九億六千三百七十二万九千円を要して昭和五十八年十二月完成しました。建設費の内訳は工事費で八億二千五百一十五千円、建築五億八千三百六十五万七千円、暖房給排水で一億四千八百九十七万三千円、電気九千二百三十八万四千円、設計管理費二千九百二十三万三千円、外構工事七千七百四十八万円、備品三千二百万円、となっております。

この周辺一帯は、十勝岳から流れる硫黄のまじった水が、河道の定まらないまま地面にしみこんで湿地帯となっているため、地盤の掘込みは、通常の三倍から四倍の十二m平均で打ち込んでおり、外構工事にはかなりの余分な費用を要しております。

財源については、この町には自衛隊の演習場があることから、防衛施設周辺民生安定事業の恩恵を大幅に受けており、本来、役場庁舎には、国庫補助金はないのが通常ですが、ここは防衛庁から七千



中富良野町役場庁舎

三百三十九千円の補助が付き、更に防衛施設整備事業に対する国の特例交付金として五千二百万円が交付になり、一般財源に組入れております。また、四億五千四十万円

の起債を仰いでおりますが、これも防音施設の関係で基準面積等の制限は一切受けることなく、思い通りの設計ができる等、他の町村にはない大きな利点がありました。その他の一般財源については、昭和五十五年から三年間で積立調達しております。

庁舎の周辺は、広大な土地のため、駐車場・庭園等がうらやましい程のスペースで確保されており、また、庁舎自体も十分に余裕をもったスペースで建設されており、庁舎の一階入口付近は、大理石の階段や絵画、彫刻物などで装

飾され大変豪華で一見役場らしからぬ、まさに近代的偉容をもった建設であり、各課の配置や構造も住民へのサービスが十分行き届くように配慮されております。また、この庁舎には、防音施設になって

いることから、騒音防止、空気浄化など空調設備に重点をおき、各階にそのための機械室があつて新鮮な空気を天井から回し汚れた空気をドアのガラリから送り出すというシステムになっています。暖房については、一階が床暖房、あとはその部屋の大きさに応じ、温水と温風が使用できるようになっています。

一階には出納室、税務課、民生課等窓口業務関係が中央の光庭に面して配置されており、また、町民が気軽に訪ずれることができる健康相談室、町民相談室等も入口に設置してあります。町民ラウンジには、ソファ・テレビ・書物などがあり、ベランダからは庭園が眺められるようになっていたりなど町民がゆっくりくつろげるようになっております。二階には建設課、企画課、総務課、町長室の他四つの小会議室があります。会議室は中央を移動式パネルで仕切っているため、必要に応じ大会議室としても使用でき、また書庫につ

いても移動式になっているため、狭いスペースを無駄なく使用して

いました。三階はすべて議会関係で占められており、議場、正副議長室、議員控室、議会事務局、図書室等が配置されております。特に議場は、道議会議事堂を思わせる近代的な造りで、外から入ってくるのと一瞬ちがう世界にいるような身の引きしめる感賞さえ覚えました。

全体を通じて感じたことは、これだけ広いゆとりのあるスペースで建設できたのは、何といても自衛隊の演習場があることの恩恵が大きく、利尻町としては即これを参考という訳にはいきませんが、近代的な建設方法やデザイン等は大いに参考すべきであると思われる。

## ○町立病院の建設について

### 長万部町

長万部町は、渡島半島内浦湾の最奥部に位置し、大部分が山地に占められ、平地は内浦湾に沿って帯状に分布し平坦で肥よくな農耕地を有しています。また、沿岸のほとんどは砂浜になっています。

長万部町には、今迄町立の病院がなく、現在十九床未満の個人病院がいくつかありますが、住民が



ら一次医療体制確立のための町立病院建設を強く要請され、昭和五十六年十月着工に踏み切り、昭和五十七年十二月完成、昭和五十八年一月開院の運びとなりました。

鉄筋コンクリート二階建、総面積三六二七・三二㎡で建設費は八億五千七百八十万円を要して建設されました。財源は企業債が主で八億五千六十万円を仰ぎ、一般財源が七百二十万円となっております。その他医師住宅四戸、看護婦宿舎、技師住宅四戸の建設に一億七千三百五十三万円を要し、このうち一億四千七百六十万円の企業債、二千五百九十三万円が一般財源、それから医療機械備品購入費二億三千七百万円に対し一億六千七百七十万円の企業債、六千八百三十七万円の一般財源という内訳となっております。従って後年度の企業債償還金は相当額になる見込で、昭和六十三年度には、一億六千万円もの償還額になるといふこととです。また、この町には国保の加入者が三九・八%と少なく、五〇%と割るため国保病院になれず、国・道の補助金はまったくなく、加えて経営状態もかばいにくい。ため昭和五十八年度一般会計繰入金が一億円近い額になるなど、今

後、一般会計負担金は増大するものと予想されています。当病院の診療科目は、内科、外科、小児科、皮膚科の四つで、コンピュータを駆使した最新の医療機器をそろえ診療を行っており、スタッフも医師五人、看護婦二



長万部町立病院

と取り囲むように配置されているため、大変わかりやすく便利になっております。その他一階には会議室・院長室・機能回復訓練室・医局・調理室等が配置されています。二階は中央に看護婦詰所、洗面所があり、その両サイドに廊下をはさんで二十の病室が面しており、すべての病室は採光を考慮して、大きな窓が取り付けられ、壁や天井の配色も清潔感を与えるように配慮されており、また、詰所の向いの病室は、術後患者等重病看者室になっており、人工呼吸器等の医療機器を備え、密度の濃い治療が行えるようになっております。廊下は二・三メートル幅広、壁には手すりが取り付けられておりあまり目立たない所にも十分こまやかな配慮もされておりました。

十人、薬剤師二人、放射線技師二人、検査技師二人と一次医療機関として万全の医療体制をしております。

構造としては、わりと狭い玄関を入るとまず待合室の広さに驚かされます。患者の苦痛を少しでも軽減するようにと二〇〇人ぐらいは、ゆっくりとくつろげるような広さになっています。その広い待合室に内科・外科・小児科・皮膚科の各診療室、レントゲン撮影室、検査室・事務室・薬局がぐるり

三二・九一㎡のほぼ正方形をした町です。役場庁舎については、昭和五十一年三月に着工し十一月に完成しました。庁舎の位置は正面が山側に面し道との一段低い所に建設されており、海側から見れば三階建・山側から見ると二階建に見えるように設計されております。総工費は、五十一年当時で四億七千七百八十二万九千円、内訳として主体工事に三億九千万円・外構工事費二千二百万円、暖房給排水設備費七千万円、電気設備二千九百九十三万円、備品購入費一千四百七十二万円、その他三千七百五十七万九千円となっております。財源は一億七千二百万円の起債を仰ぎ、基金繰入金で二億一千九百万円、このうち庁舎建設積立金の積立については、昭和三十一年に条例ができ、十二年間で九千九百万円を積立して、また、町有財産である原石の山を業者に売払い、その代金一億二千万円を庁舎建設基金に積立しております。

このように、各室・各設備の配置をみても、また、床暖房一つをとってみても、非常に患者のためを思った。患者本意に造られた病院であり、患者にとっては、まさに理想的だという感じを受けてきました。

〇役場庁舎の建設について

豊浦町は、長万部町と同じ内浦湾に面し、脈振支庁管内の西端に位置し、人口六千四百人、面積二

一階には会議室、公務補控室、管理人室、書庫等があり、その他道の出先機関である林務指導所が外郭団体として入っております。二階には総務課・税務課・民生課

産業課・建設課等一般事務関係を配置してありますが、説明によりまずと各課が入り込んでおり若干狭いということでしたが、二階の天井が三階の天井まで吹き抜きのなっているため、見た目には空間の部分がかなりあり、そう狭いという感じは受けませんでした。入口が道々側にあるため、町民は直接二階に入ってくる形になり、そのために二階に一般事務的な課を配置しております。三階は議会関係でまとめており、議場、正副議長室、議員控室、小会議室、議会議務局等がある訳ですが、特に議場は八角形になっており、壁の色や床の色・机の配置・照明等すべてが落ち着いた雰囲気です。長時間の会議でも疲労を感じないような気がしました。また、傍聴者席は後方

一階には会議室、公務補控室、管理人室、書庫等があり、その他道の出先機関である林務指導所が外郭団体として入っております。二階には総務課・税務課・民生課

一階には会議室、公務補控室、管理人室、書庫等があり、その他道の出先機関である林務指導所が外郭団体として入っております。二階には総務課・税務課・民生課

一階には会議室、公務補控室、管理人室、書庫等があり、その他道の出先機関である林務指導所が外郭団体として入っております。二階には総務課・税務課・民生課

一階には会議室、公務補控室、管理人室、書庫等があり、その他道の出先機関である林務指導所が外郭団体として入っております。二階には総務課・税務課・民生課



豊浦町役場庁舎



にあるのが多いのですが、ここは斜め横にあり側面から議会を傍聴できるようになっています。庁舎の外装は茶色のレンガ造りになっており建設当時、道の優良建築団体賞を受賞しているだけあり、建物自体のデザインは美しく変化にとんでおり、それでいて落ち着きがあります。内部についても、すべての部屋の窓は大きく、明りが十分とれるよう設計されていて外装同様、議場をはじめとする各部屋には、美術的感覚がおり込まれた造りになっており、設計者の工夫が感じられました。

以上のように、私達議員一行は中富良野町、長万部町、豊浦町を五泊六日の日程で視察し終えましたが、共通して感じたことは、どの建物も住民のことをよく考えた配慮がなされ、また、住民とのコミュニケーションの場というものを重視していることが、設計の中にも伺えました。



## ゆんぽうクリニック

### 国保病院に

### 林憲雄先生 (内科医) 着任



利尻町国保病院に六月一日付で道衛生部地域医療課より、林憲雄医師が着任いたしました。先生に、着任にあたっての抱負を語って載せましたので紹介します。

### 地域医療の発展に

宗谷管内には、昭和五十五年から昭和五十七年まで、稚内市立病院、豊富町国保病院にそれぞれ一年半勤務し、管内の事情はある程度把握しており、又、当院には自治医大同窓の小窪先生、北守先生が先に勤務しておられ、現在は佐

**プロフィール**  
三笠市で生まれ、芦別高校から自治医大入学。昭和53年卒業。  
旭川医大にて第三内科を中心に研修。昭和55年から57年迄稚

藤先生がおられまして心強く思うと同時に、頑張らなければならぬと考える次第であります。

自治医大は、昭和四十七年に全国の過疎地の医療を守るため設立され、今迄七百三十名の卒業生が全国各地で医療に携わっております。

北海道の自治医大卒業生は、十三名おり、宗谷管内に六名、道東に一名派遣され地域医療に携わっている医師が六名、旭川医大にて研修中です。

私達自治医大卒業生の本分として、北海道では離島の医療を守らなければならぬと考えます。また、来年には利尻島国保中央病院が開院予定でさらにそれに向け、スタッフを充実させ、全島民から信頼され、安心できる医療が受けられるよう努力する所存です。

現在は単身赴任ですが、八月初旬に妻と子供三人が参りますのでよろしくお願ひ申し上げます。

内市立病院、豊富国保病院勤務。昭和59年6月1日付利尻町国保病院勤務。妻と2男1女の5人家族。趣味はラクビー、釣り、その他多彩。現在32歳。

## お知らせ

### 利尻町国保病院

利尻町立国保病院では左記の日程で外科・産婦人科診療を行いますので、お知らせ致します。

○七月日程

○外科診療

七月十六日(午後から)

七月二十八日

(医師旭川医大第一外科)

教授鮫島夏樹先生(外)

○産婦人科診療

七月九日～七月十一日

(医師札幌医大産婦人科)

水内英充先生)

○八月日程  
○外科診療  
八月六日～八月十八日  
(医師旭川医大第一外科)  
助教授久保良彦先生(外)

○産婦人科診療

八月一日～八月三日

(医師札幌医大産婦人科)

水内英充先生)



## 受賞おめでとうございませう

### 松野義男さん 法務大臣賞受賞

長い間、人権擁護委員として町民の相談相手になってきた松野義男さんに法務大臣から感謝状が贈られました。

松野さんは、人権擁護委員として十七年間、町民の相談役として、心配ごと、もめごと等の解決に努められました。

去る五月十八日そのご労苦に対し町長よりねぎらいの言葉とともに感謝状が伝達されました。





# あなたは国民年金に加入していますか

# 国民年金だより

## 国民年金は…

右の7つの公的年金に加入していない20歳以上60歳未満の人は、必ず加入しなければなりません。また、サラリーマンの奥さんや、ほかの年金制度から年金をうけられる人は、希望により加入することができます。



## 保険料は

定額で 6,220円です。

このほか、将来、より多い年金を希望される人は、付加保険料月 400円を上積みすることができます。

## 老齢年金を受けるためには

国民年金には、障害年金や母子年金などいろいろな年金がありますが、中心となるのは歳をとったときに受けられる老齢年金です。

この老齢年金を受けるためには、60歳までに25年以上あることが必要です。ただし、昭和5年4月1日以前に生まれた人は、右表のように24年から10年に短縮されています。

厚生年金保険
船員保険
国家公務員共済組合
地方公務員等共済組合
公共企業体職員等共済組合
私立学校教職員共済組合
農林漁業団体職員共済組合

● 受給資格期間の特例

生 年 月 日	期間
大正 5 年 4 月 1 日 以前	10年
” 6 ” ”	11
” 7 ” ”	12
” 8 ” ”	13
” 9 ” ”	14
” 10 ” ”	15
” 11 ” ”	16
” 12 ” ”	17
” 13 ” ”	18
” 14 ” ”	19
” 15 ” ”	20
昭和 2 ” ”	21
” 3 ” ”	22
” 4 ” ”	23
” 5 ” ”	24

## ここが一番肝心なところです!!

年金は、歳をとったときに、当然のように支給されるものではありません。若いうちから、年金制度に加入し、一定期間以上の保険料を納めることによって年金を受けることができます。

厚生年金や共済組合などに加入していない人は、国民年金に加入し、保険料を納付しなければ将来どこからも年金を受けることができません。



## 清掃施設組合より

### お願い

● 焼却炉は悲鳴を上げています。

水と空カンは悲カンです!!

キッチンのお母さんゴミの出し方に御協力下さい。ご家庭のゴミを出す場合、いまだに燃えるゴミと燃えないゴミを混合して出している家庭が多いようです。これは処理能力を低下させることはもとより危険ですので是非やめて下さい。

◎カラスの勝手でないでしよう!!

前日のうちにゴミを出したり、朝出かきにごみを家の前に出していく方が多いようですが、ふたのない容器や紙袋、ダンボール等に入れていたため、犬やカラスが群がり、ごみを道路一杯に散乱させているところが相当見受けられます。必ずふたのある容器に入れてその上にふたのとれないようガツチリおもしろをする等、散乱させないようご注意ください。

◎台所から出るくずは必ず水切りを!!

必ず水切りを!!

台所から出る野菜くず、魚くず等ナイロンの袋につめて出しているようですが、よく水切りしてから出して下さい。処理場でよくみますと水が8割も入っているものが多いようです。これは熱いストープに水をかけるようなものですから、燃料代がかさむばかりか炉の寿命をちぢめてしまいます。

◎危険です、スプレー!

ガスボンベの投棄!!

燃えるゴミを出す日に空缶・スプレー・空ビン・ガラス類、金物類、プラスチック類、ガスボンベ

今後、絶対捨てないよう御協力下さい。捨てた人が判明した場合、額を負担していただきます。

絶対にやめましょう!

最近、又他人の土地や指定地以外へのごみの不法投棄が目立ちます。人のいない所をみはからってごみを捨てていく不心得な人がいます。捨てられたごみの処理には沢山のお金と人手がかかります。



# りしりの博物誌(六)

## 殖民公報に紹介された

### 利尻の記事 (4)

(前月号からの続き)

○殖民公報第四十三号

商業 四十年末現在鴛泊市街の戸数二百二十、人口千余にして物品販売業、旅人宿、料理店、貸座敷、酒造業、牛乳搾販売業、湯屋、質屋、回漕業、軽業其他各種商店概る備はる物価は小樽に比すれば一割乃至二割強高価なるを常とし品質も亦概ね不良なり本年五月中の平均小売相馬の一斑を示せば上白米一石十九円五十銭、中白米一石十八円五十銭、醬油一斗三円三十銭、味噌十貫目四円四十銭、大坂酒一升六十八銭、地酒一升五十二銭、中白砂糖一斤二十銭、薪一敷二円七十銭、木炭十貫目一円二十銭なり、左に本港に於ける五個年間の輸出入価額を掲ぐ

年	輸出	輸入	年	輸出	輸入
三十一年	二四四〇〇円	四三二七円	三十九年	二七九六九円	二四四四七円
三十二年	八六四四〇円	一七三三〇円	四十年	一〇二四六六円	一八七七四円
三十三年	一七三三〇円	一七三三〇円	四十一年	一〇二四六六円	一八七七四円
三十四年	一七三三〇円	一七三三〇円	四十二年	一〇二四六六円	一八七七四円
三十五年	二〇〇七〇七円	一七三三〇円	合計	八四九三六円	一八七七四円

右輸出品の仕向地は越中、越前、

大阪、小樽、函館等とし輸入品の仕出地は越中、越前、小樽なり四十年に於ける輸出品に就ては漁業の項に記したる海産物並に少許の繭にして輸入品の主なるは米九万八千四百二十四円、酒三千円、紙類四千二百円、太物類四万円、醬油五千四百円、薪炭四千八百円、薬品四千三百円、金物類二千二百七十円、食塩二千六百円、石油二千三百円、味噌二千九百七十三円、繩疋四千九百六十円等とす。

農業 四十年末既墾地段別約十五町歩、耕作者二百五十三戸にして其の收穫物の主なるは馬鈴薯十四万八千余貫目、胡蘿蔔(註1)七十五貫目、午麥八十貫目、甘藍(註2)四百八十貫目、体菜七百二十貫目等とす養蚕は三十七年始めて之を飼育し爾來年々之を営むものあり昨年稚蚕共同飼育所並に生繭燥殺所を設け実業補習学校教員をして之を指導せしむ又同年は蚕紙約百枚の製出あり村役場に於て本年一月官林二万坪借地し一段歩は既に桑苗を植了し此他の植付別と合せ約五反歩の桑園あり左に飼育

以来年々の状況を表示す。

年	飼育数	繭産数	取獲高	年	飼育数	繭産数	取獲高
三十七年	二二	二枚	五九六	三十九年	三〇	四枚	九六五
三十八年	三三	三枚	五九六	四十年	四	四枚	九六五
三十九年	三三	三枚	五九六	四十一年	五	五枚	九六五

但三十九年取獲の少きは氣候不顺の為、不況の結果なり。

### 鬼腸村

地理及人口 本村は島の東南部に位し延長六里九町、北は鴛泊村に境し西南は仙法志村に接し西北は利尻山の南に在り右方に闢出したる岬角に依り僅かに湾形を為し東南の強風の外碇泊を妨げず鬼腸市街は港に臨みて二条の街路を為し村役場、警察分署、小学校、利尻水産組合並に水産組合支部、森林監守駐在所等の官署公衙あり近き数年間全村の戸口左の如し

年	輸出	輸入	年	輸出	輸入
三十六年	三九二八	七六八	三十九年	三八九四	八四九
三十七年	三九三	八七	四十年	三六二	八七五
三十八年	四〇〇	八〇〇	合計	一七四四	九九九

漁業 鯨、昆布、鱈、石花菜、蟹等の漁獲ありて蟹は本村の特産物なり四十年の入稼漁夫千九百二十人、同年の就業鯨建綱百六統、同刺網一万二千三百三十三放、採藻者五百五十六人、鱈釣者(蟹釣も鯨釣と同時に之を為す)百三十二人にして五個年間の海産製品額左の如し。

年	輸出	輸入	年	輸出	輸入
三十四年	三三五四〇円	一〇三三〇円	三十九年	三三七一	一四三三八円
三十五年	三三〇〇〇円	一〇三三〇円	四十年	三三七一	一四三三八円
三十六年	三三〇〇〇円	一〇三三〇円	合計	一六六〇〇	一六六〇〇

右四十年の価額中蟹罐詰(四千八百個)五千二百八十円、長切昆布千五百五十七円、折昆布五百五十九円、棒鱈四十二円、塩鱈三百五十四、鱈骨粕六円、石花菜七十二円、合計七千八百七十円を除き他は皆な鯨製品なり。

商業 鬼腸市街に於ける昨年未現に戸数約三百、人口千余にして物品販売業、料理業、貸座敷、旅人宿、質屋、湯屋、酒造業、牛乳販売業、回漕業、軽業其他商店多く仙法志村需用の幾分は本市街に於て供給せり物価は鴛泊市街に比して大差なし左に数年間の輸出入表を示す。

年	輸出	輸入	年	輸出	輸入
三十四年	三九二八	七六八	三十九年	三八九四	八四九
三十五年	三九三	八七	四十年	三六二	八七五
三十六年	四〇〇	八〇〇	合計	一七四四	九九九

四十一年輸出の内繭約千円の外は総て漁業の項に記したる海産物にして輸入の主なるは米七万五千三百円、呉服太物類二万五千五百円、砂糖五千八百円、煙草四千三百九十五円、醬油三千八十円、綿類三千円、紙類四千三百円、繩疋四千九百五十円等とし輸出品の仕向地は新潟、大阪、富山、東京、小樽、函館等にして輸入品の仕出地は青森、秋田、新潟、東京、大阪、小

樽、函館等とす。工業 三十八年十一月中山某鬼腸市街に於て初めて蟹罐詰製造を為し爾後製造者増加し本年は九戸に及へり当業者の言に依れば年々の製造風を左の如し(但一函は十二打入)

而して此価格は高低甚しく一函に付安きは九円五十銭、高きは十二円に至りしことあり平均一函九円と見積れば大差なしと云ふ(本号工業欄参照)

以下次号へ

あなたの善意を  
利尻町愛情銀行へ

利尻町社会福祉協議会



# あなたと保健室

## あなたの食生活は健康的？

いつも病気について話をしてみました。病気の中には、私達の食事のしかたによって引き起こさ

れるものもあります。また、治療にも食事が重要な位置を占めるものが多いのです。そこで今回は、あなたの食生活についてテストをしてみましょう。

もし、あまりよい点数が取れなければ、かたよっているところを点検して注意して下さい。



### ● 充実度チェック

TEST A

1	朝食をときどき抜くことがある	
2	夕食は家族そろって食べる	
3	いつもテレビを見ながら食事をする	
4	朝食はごく簡単にパンとコーヒーですますことが多い	
5	昼食はめんどうなので店屋物が多い	

### ● 間食度チェック

TEST B

1	寝る前によくインスタントラーメンやお茶づけを食べる	
2	コーラや清涼飲料を毎日飲む	
3	袋菓子やケーキをつまみすぎて食事を食べたくないときがある	
4	コーヒーは砂糖を入れて日に3杯以上	
5	食後のデザート以外に間食はめったにしない	

### ● 偏食度チェック

TEST C

1	いつも塩辛やつくだ煮、つけ物がないと物足りない	
2	生野菜やくだものは苦手なのでめったに食べない	
3	豆腐が好き、いろいろ工夫して献立に入れる	
4	卵や牛乳を毎日つとめて食べる	
5	野菜の煮物が好きでよく作る	

### ● バランス度チェック

TEST D

1	野菜はきらいだが、こってりした肉料理は大好き	
2	魚はめんどうなのであまり食べない	
3	仕事を持っているので、加工食品に頼りがち	
4	つけ物と塩づけでご飯を3杯以上食べることがある	
5	食べたいときに好きなものを食べればよいと思っている	

### ● 健康度チェック

TEST E

1	たばこは必需品、日に20本以上すう	
2	疲れを翌日まで持ち越すことがよくある	
3	近所へ買い物に行くときも車を使う	
4	お酒を毎日飲む	
5	仕事(家事)以外に楽しみや趣味を持っている。	

● 採点表 下の表が正しい答です。自分の答と照らし合わせて、合っていれば一間につき1点の得点になります。

	A	B	C	D	E
1	×	×	×	×	×
2	○	×	×	×	×
3	×	×	○	×	×
4	×	×	○	×	×
5	×	○	○	×	○

20点以上——及第点をあげられます。充実した食生活といえるでしょう。

15点～19点——まずまずです。今後も食事と健康に関心をもち続けてください。

10点～14点——あまり良好とはいえません。もう一度、テストA～Eのどこにかたよりが多いか点検してみる必要があります。

9点以下——問題の多い食生活です。このままでは、たとえば現在テストEが満点に近くても、将来成人病などの心配があり心細い限りです。



# 青少年の 豊かな心を育てよう

（青少年非行防止  
道民総ぐるみ運動月間  
7月1日～7月31日）

小学生のころは地域活動に積極的に参加していた子供が、中学、高校と進むにつれて、だんだん参加しなくなる。その背景の一つには、大学進学への過熱が挙げられます。先ごろ発表になった「教育に関する世論調査（総理府広報室）で、大学進学や勉強に対する意識を見てみましょう。

男の子にどこまでの教育を受けさせたいかという質問に対して、約半数の親は「大学まで」と答えています。

また、小・中学生の子供を持つ親の約三分の一は「子供を学習塾に通わせたり、家庭教師を付けている」と答えています。

子供は学校での勉強以外に、塾



などに時間を割いている。

つまり、学校が終わっても塾などで勉強する時間が増えているため、地域活動に参加できる時間がだんだんと減っているようです。

また、子供たちの遊び仲間が小集団化し、身近な友達や親などしか付き合わない傾向があります。

そんなとき、大切になってくるのが親の地域活動に対する適切な理解、評価、そして、子供たちが進んで参加できるような環境づくりではないでしょうか。子供が地域社会の活動へ参加したり、参加したいと思っているときは、次のような点に注意し見守ってやりましょう。

●「地域活動の最小単位は、隣人」です……まず、親が隣人との付き

合いを大切にしましょう。子供は親の態度を見て育ちます。隣人と仲良くできることが地域社会への参加の第一歩です。

●親が地域活動への関心を持つこと：地域活動を知るためには、まず親が興味を持つことが大切です。親が適切な判断を下すためにもぜひ活動に興味を持ち参加するようになりましょう。

●子供の自主性を重んじ、長い目で見守ろう……子供が自主的に地域活動に参加している場合は、親は長い目と温かい心で見守りましょう。これが、社会参加の原動力となります。

◎「豊かな心」を育てるためのひとつの土壌……それが地域社会への参加です。学校では味わえない体験などを通して、地域社会活動はきつと子供の心に「豊かさ」をもたらしてくれるでしょう。

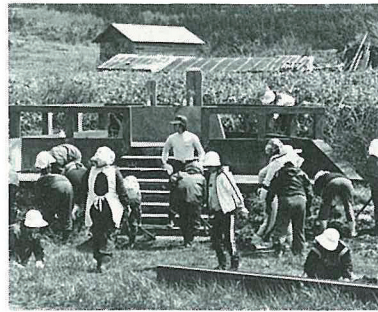
## 地域活動への参加

「隣人と仲良く」が

参加への第一歩

## 沓形地区婦人団体協議会 「会津藩士の墓」清掃実施

去る五月二十日、沓形地区婦人団体協議会（会長成田和子）が美化運動の一環として、会津藩士の墓の清掃に奉仕されました。



## 稚内地区交通安全協会 総会開催される

去る六月十四日、老人福祉センターにおいて、稚内地区交通安全協会総会が開催され、沓形交通安全協会と仙法志交通安全協会が表彰されました。





# 第34回「社会を明るくする運動」

(七月一日～七月三十一日)

犯罪や非行をなくして、青少年が健やかに育ち、そして明るく住みよい社会をつくることは私たちのみんなの願いです。

しかし現実の社会を見ますと、この願いは反対に連日のように道内各地で青少年の非行が起き、大きな社会問題とな

ってあります。待ちに待った夏休みは、もう目の前、子供たちのはしやぎ声が聞



## 防ごう非行・助けよう立直り

こえてくるようです。しかし、少年非行の多くは、この長い休みの間に芽生えることが多いのです。

今月は「青少年を非行から守り社会を明るくする運動」が展開されております。



社会を明るくする運動  
利尻町実施委員会  
社会を破壊する

関係機関、団体をはじめ、それぞれの地域でも、青少年が非行に走らないように気を配り、身近な問題として周囲の人達と卒直に話し合われてはいかがでしょうか。

白い粉——  
覚せい剤から暮らしを守ろう

## 駐在所 だより



利尻町の交通事故死ゼロの記録更新は本年六月十一日の一〇〇〇日達成、さらに一五〇〇日へ向けて、学校、団体、事業所等の協力を得ながら交通事故の絶滅運動を展開しているところですが、最近の状況を見ますと、交通事故の発生が急激に増大しており、関係者一同苦慮しているところ

## 各種交通安全運動

です。幸い死亡事故等の大きな事故は発生していませんが、これから増え交通事故が発生しやすい時ですので、一人ひとりが十分注意し、事故にあわない、起さないように心がけましょう。  
速度制限の延長について  
今迄、利尻高校付近まで、40km速度制限でありましたが、6月20日から、運動公園まで速度制限が延長になりましたのでお知らせ致します。



事業所訪問



母と子の交通安全教室



更新時講習会

## 展開される



利尻電業株式会社交通安全教室



自転車交通安全教室



交通安全町民大会



交通安全自動車教室





◎ 七月二十三日は「ふみつき、みの日」です。

最近、電話の普及によって手軽に相手と話をすることができることから、手紙を書くことが少なくなつたと言われています。

手紙には、他人に対する思いやりを育てるとともに、自分の気持ちを正確に相手に伝えることができるなど、良い点がたくさんあります。

郵政省では、毎月二十日を「ふみの日」とし、手紙を書くことの価値を見直す運動を展開しています。

とりわけ、陰暦で「ふみつき」とも呼ばれる七月の「ふみの日」には、「ふみの日」にちなんで切手を発行するほか、各地でいろいろなキャンペーン施策を予定しています。

皆さんも心と心の交流を盛んにするため、手紙を書いてみませんか。

◎ 絵入りの暑中見舞はがきで夏便りを

いよいよ本格的な夏の到来です。友人や知人などから、暑中見舞や涼しさを感じさせる旅先からの便りをいただくのは、たいへんうれしいものです。

六月十五日から発売している暑中見舞はがきには裏面に涼味感あふれる夏の風物の絵を入れて三種類発行しています。ご家族の近況、夏の利尻島のすばらしさなど、話題を添えた夏だよりに、ぜひご利用ください。

◎ お中元などの贈り物に郵便小包を

いよいよお中元の季節です。日ごろお世話になっている方への贈答品には、郵便小包をご利用ください。お便りを添えた郵便小包は、心の温かさを一層広げることでしょう。

郵便局では、皆さまからお預りした小包をぐんとスピードアップして受取人の方へお届けしています。

また十個以上まとめてお出しになると、最高二十五%まで料金を割引きます。

なお、郵便局では、簡単に小包をお出しいただけるよう、美しいデザインの小包包装用品「ゆうパック」を発売しておりますので、あわせてご利用ください。

◎ お年玉賞品の受取りはお早く

昭和五十九年用お年玉つき年賀はがきのお年玉賞品の引換えは七月十九日までです。まだ引換えをされていない方は、お早めに近くの郵便局の窓口にお申し出ください。

◎ 五円おトクなエコーはがき

エコーはがき(広告つきはがき)は、はがきの下部に広告を掲載し、その広告主から広告料をいただいております。お客様には割安な値段(三十五円)ではがきを利用していただくというものです。

エコーはがきには、全国を販売区域とする全国版と、都道府県を販売区域とする府県版の二種類があります。



海の記念日  
7月20日

### 献血にご協力

昨年度は  
百八十三名を採血

昨年利尻町での移動採血車による献血協力者は、A型六十三名、B型三十九名、O型五十八名、AB型二十三名の合せて、百八十三名の方よりご協力をいただきました。

日本赤十字社では、必要に応じて血液をどこでも、だれにでも、供給する制度を作ってから十年になり、輸血用保存血液をまかなっております。

### 保健だより

本年は次の日程で行います。  
、杏形地区  
七月十日、午前十時から十一時迄新湊自治会館前。午後十二時から一時三十分迄、バス会社前。午後一時三十分から三時迄役場前。  
一、仙法志地区  
七月十一日、午前八時三十分より十一時三十分迄長谷川旅館。  
(愛の献血運動を)

### 原付免許試験の実施について

昭和59年度の原付免許試験は次のとおり実施の予定です。お知らせいたします。

- 一、試験 昭和59年3月〜9月の間、第2水曜日
- 二、試験会場 稚内市潮見5丁目3の14 稚内交通安全センター
- 三、その他 受験希望者は杏形駐在所に問い合わせてください。



いよいよ観光シーズンに入りました。今年の観光は明るい話題が多く、かつて利尻礼文が国立公園に昇格した頃、カニ族を中心に大変賑わった為、離島ブームと呼ばれていますが、今日世相の流れと共にカニ族の姿は消えたものの、利尻礼文は旅行者の脚光を浴びて、再び離島ブームの兆しを見せております。

観光客の層は変わっても、旅行者の脚光を浴びてきたことは、宗谷の観光にとって大きな発展と言えるでしょう。それだけに今後も関係市町村と手を取って、一層の宣伝誘致に努力していかねばなりません。

しかし、観光は訪れる観光客の「口から口へ」の批評が一番の原動力です。従って、観光客に直接接する商店、旅館、交通機関等の皆さん方をはじめ町ぐるみで、観光客を親切に迎え観光「りしり」の町づくりにご理解とご協力をお願い致します。

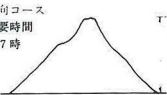


## ◎知っておきたい利尻の知識

### 利尻・礼文・サロベツ国立公園

#### 利尻山

アイヌ語で「高い山」とし「島」が語源。  
**宍形登山コース**…中級向コース（所要時間5～7時間）景観重視型コースとも言われ5合目（見返台公園）まで車で行ける。  
**霧泊登山コース**…初級向コース（所要時間5～7時間）



#### 見返台公園

車道利尻登山線の終点(道々から約5km・5合目)に位置する公園である。駐車場から約280mの地点にあるハイマツ林に囲まれた展望台からは、利尻島のおよそ1/3が見渡せ、晴れた日には天光焼尻島も望むことができる。  
 (駐車場、展望台、広場、便所、自然探検歩道有)



#### 寝熊の岩

昔、熊のいないこの島に住んでいたアイヌ達が毎年この穴洞に集まり、岩熊の廻りを熊祭りの夜を明かしたと言ひ伝えられます。



#### 会津藩士の墓

宍形市街より約2kmの地点にあり、文化4年(今から約170年前)ロシア軍が礼文島に侵略の際、対戦殉戦した会津藩士が静かにおひつています。  
 (利尻町砕石事業所入口)



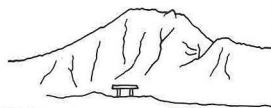
#### 宍形岬公園

宍形市街地より徒歩5分、利尻町出身の詩人時雨音羽先生の「出帆の港」の一章を刻んだ歌碑がある。(キャンプ場、駐車場、展望台、水炊場、便所、釣場有)



#### 天望山公園

種富町より2kmへだてた高台にあり、偉容利尻山を仰ぎ眼下に宍形市街、遠くは礼文島が眺望できる。(町営砕石事業所入口より約2km)  
 (展望台、駐車場、広場、便所有)



#### 北のいつくしま弁天堂

今を去る80年前、この地の開拓を志し、若者数名が舟乗りに乗り組んだが大暴風雨に遭い、岩に打ち砕かれようとした時、風柱が倒れて橋となり、無事難を逃れたことから、弁天の御加護によるものと信じ、小祠を建立して信仰したことに始まると伝えられています。



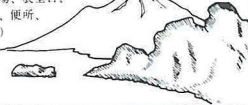
#### 千島桜

仙法志長浜より約6km隔てた山麓に千島桜の群生があり(約1,000本)昭和43年12月北海道天然記念物に指定されています。



#### 仙法志御崎公園

奇岩奇石ですこぶる変化に富み岩間には海岸植物のシロヨモギ等が咲き乱れる。又、自然の磯を利用して作った水族館では、ホッケ・イソハル等を見ることができ。  
 (駐車場、展望台、水炊場、便所、釣場有)



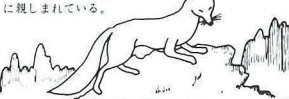
#### 利尻町立博物館

昭和55年5月1日オープン。「自然=海=人間の調和」を基本テーマに展示を行っている。  
**入館料** 一般 100円(団体80円)  
 小中学生 50円(団体30円)  
 ※団体30名以上  
**休館日** 毎週月曜日、祝日の翌日  
**開館期間** 5月1日～11月30日

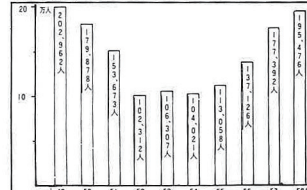


#### きつね森

今から50年前の頃、この森を城にしていたキツネは沢山いたが、その中に稲荷大明神の使いといわれる白いキツネがいたといわれ、実話にもとづく言い伝えがあるなど、今でも「ネの森」として町民に親しまれている。



#### 利尻町観光客入込み実績



## 観光

町ぐるみで観光客を親切に迎えようの  
 心で受入体制を

## お願い

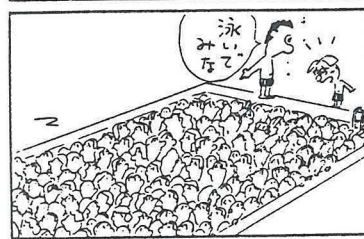
- ◎「ゴミ公害追放」「ゴミ持ち帰り運動の推進」  
 各公園をはじめ、山に入った場合は、必ずゴミは持ち帰るようお願い致します。
- ◎高山植物などの保護のお願い  
 郷土の自然を保護するために皆さんのご協力を強くお願い致します。又、見返台公園周辺には数種類の高山植物がありますが、採取すると法律で罰せられますのでご注意ください。
- ◎車道利尻登山線沿道の桜の保護について  
 町では、見返台公園までの車道線沿道を桜並木にと計画し、すでに300本くらい植樹していますが、町民皆さんのご理解とご協力をお願い致します。





# さわやか君

西村 宗



発行 利尻町役場

編集 住民課広報交通安全係 ☎四二三四五番

氏名 保護者続柄 住所  
 小山田美香 正蔵 長女 本町48  
 川代あずさ 優 二女 種富町46  
 木村 祐城 則久 長男 緑町57  
 佐藤 拓海 滋美 長男 緑町57  
 今野 五月 楨彦 長女 種富町52  
 惣万 容史 徹 二男 神居52



お誕生おめでとう  
こげいます

氏名 年齢 住所  
 稲沢 ゆかり 緑町53  
 保野 耕二 泉町51  
 平井 洋子 富野58  
 西川 孝子 富野58  
 須田 前子 富野58  
 天野 廣昭 富野58

いつまでも  
お幸せに



## 戸籍の うごき

自5月1日  
至5月31日

### 寄付三件

このたび、次の方々より町へ寄付がありました。町では善意に感謝し、有意義に使用する予定でおります。

前収入役の津田博氏より、利尻町役場庁舎建設資金として、金五十万円。

前国保病院長の北守茂氏より、町へ金十万円。

利尻島ロータリークラブより、社会福祉事業資金として、金十一万六千六百円。

### 皆さんの苦情や要望 行政に反映を!

ふだんの生活で、何か不便を感じていること、行政上の苦情、要望、意見を聞いて問題の解決に努力し、皆さんのよりよい行政を目指しています。

「行政相談」は、あなたの生活と行政をつなぐパイプです。明るく住みよい社会をつくるために、「行政相談」をご利用ください。

◎どんなことを相談するのか?  
恩給、年金、登記、国税、保険生活保護、環境衛生、農地、郵

便、道路、交通、公営住宅、河川、公害、一般許可のほか国鉄、電々、専売等のことについての相談。

◎どのような方法で相談するのか  
口頭、電話、手紙で行政相談委員にお申し出下さい。

▼行政相談委員  
利尻町荻形字富士見町 荒木 健三  
電話、四二〇二八

## 今月の納税 保健税 第1期

(納期7月31日まで)

### 免許証更新時 講習会

- 七月二十五(水)
  - 鬼脇公民館
  - 午後六時三〇分
- ※当日は時間厳守して忘れずに受講しましょう。